

目黒のお祭り

大鳥神社 酉の市 / 目黒のさんま祭

みなさんは目黒のお祭りに参加したことがありますか？ 目黒には長い伝統のあるものから全国的に有名で人気のあるものまで様々なものがあるんです。今回その代表的なものとして大鳥神社の酉の市と目黒のさんま祭についてそれぞれお話を伺ってきました。これを機会に、目黒のお祭りに目を向けてはどうですか？

最後に目黒区の中
高生に向けて一言！
「自分たちの町を誇りに
思い、目黒の良いところを
言えるようになって欲しいです。」



大鳥神社 酉の市

11月の酉の日 午前8時〜午後12時
(大鳥神社の宮司 堀江久教さんに聞きました)

酉の市とはもともと、農具市という次の年の準備をする時期に、農家は収穫物を、鍛冶屋(かじや)はくわなどの農具をそれぞれ持ち寄って売り、来年も良い年であるようにと祈るお祭りでした。それが次第に変化し、熊手などの縁起物を売る市になったんだとか。酉の市に訪れる人は、子どもからご老人まで様々で、午後5時〜8時は、特に若い人が多いそうです。

そんな酉の市の自慢は、都内の約15カ所で行われている酉の市の中で、一番を誇る古きだということ。その歴史はなんと江戸時代から！その歴史を守るため、酉の市では防災や防火対策が一番心配なんだそうです。

目黒のさんま祭

9月の第2か第3週 土・日 午前10時〜午後4時
(目黒のさんま祭実行委員の鈴木弘さんに聞きました)

目黒のさんま祭は、平成12年から目黒区民まつりの一環として行われるようになりました。毎年多くの人が訪れ、昨年の入場者は約2万人！ほかに、約800人がお祭りに関わっています。

目黒のさんま祭は、その年の、さんが一番おいしい時期に開催されます。宮城県北東部岩手県境にある気仙沼から、毎年5千匹ものさんまをもらっています。1時頃には全てなくなってしまうそうです。

さんまをもらう列に昨年一番早く並んだ人はなんと朝の5時から！さんまを食べるために、わざわざ遠くから来る人も増えています。さんまを食べたいならお早めどうぞ。

気仙沼の方や主催者の方にとって、さんまの骨だけを残してきれいに食べ

てもらえることが何よりも嬉しいそうです。さんま焼きのお手伝いは区報で募集しています。もちろん、中高生もOK！ぜひさんま焼きを体験しに来てください。



目黒の由来

馬説

昔日黒区内には「馬」に関連する土地が少々あったらしい。そういって、「つまぐろ」という言葉が濁り、今の「目黒」になったという説。しかし、その割に今の目黒区内に「馬」のつく地名が駒場ぐらいいしがなく、根拠としては少し弱い。

地形説

中世・鎌倉時代に目黒氏という、目黒川と蛇崩川の合流地点(現在の中目黒あたり)で権力を握っていた一族がいたという説。実際に目黒氏が存在したことは、吾妻鏡より文献上証明されているが、実際には名前前からきたものなのか、中世の前からある地形

結論

結局どれが正解というのではない。完全な証拠があるものがない限り、「目黒」の由来は謎のまま…。

に由来したものなのかはわからない。しかし、私は、地形が先立と考えている。根拠として、今の目黒川は昔は少しづつなっていて、いろんな所を巡っていることから「巡る川」↓目黒川となり、その川が流れるから、「目黒」になったと考えているからだ。

